

令和8年4月 定例教育委員会々議録

1 日 時 令和8年4月27日(月) 午後1時30分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室301

3 出席委員の氏名

教 育 長	小 林 靖 直	教育長職務代理者	中 野 信 男
委 員	斎 藤 純 郎	委 員	小 林 恵 子
委 員	上 田 佳 澄	委 員	渡 邊 愛

4 説明のため出席した職員

教 育 次 長	本 間 幸美子	学校教育課長	横 田 雄 司
社会教育課長	廣 瀬 雅 則	統括指導主事	川 口 淳

5 本委員会書記

学校 教育 課 藤 野 聡 他 2 名

6 傍聴人

なし

7 会議に付議した事件

会議録の承認

諸報告

(1) 行事報告及び行事予定

(2) 教育長報告

専決処分の報告について

報告第4号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題

協議第8号 新規共催・後援申請について

議 案

- 議案第23号 燕市社会教育委員の委嘱について
議案第24号 燕市図書館協議会委員の任命について
議案第25号 燕市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
議案第26号 燕市公民館運営審議会委員の委嘱について
議案第27号 燕市文化会館運営審議会委員の委嘱について

その他

- (1) 「羽ばたけつばくろ応援事業」審査員の選任について

8 閉 会

会議録

別紙のとおり

1 開 会 宣 言 午後1時30分～

2 会議録の承認

全員異議なく、令和8年3月定例教育委員会々議録は承認された。

3 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定

〈各課長が報告〉

(2) 教育長報告

〈小林教育長が以下のとおり報告〉

1 はじめに

令和8年度スタート。燕の子どもたち、そして、市民の皆様の今と未来の幸せのために、各施策・事業を展開していく。

社会の変化や最新の教育の動向を注視しながら、建設的、生産的に取り組んでいきたい。

2 児童生徒数（4月1日現在）

小学校の児童数（14校） 前年比 ▽129人

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	(特別支援)	計
児童数	473	518	485	573	539	608	(267)	3,196

中学校の生徒数（5校） 前年比 ▽16人

学年	1年	2年	3年	(特別支援)	計
生徒数	569	596	570	(77)	1,735

※燕中等教育学校（前期）に進学した生徒数は含まれていません。

3 4月の行事から

(1) 第36回 燕さくらマラソン大会【4月11日（土）】

○ 満開の桜の下を県内外から大勢のランナーが健脚を競ったり、ウォーキングを楽しんだりしていた。北は北海道、南は九州からの参加があった。

【参加申込者】1,953人（前年比+62人）過去最多

うち477人（市内）、うち1,116人（燕市除く県内）、うち360人（県外）

○ ゲストランナーは、燕市出身で青山学院大学在学中の笹川洗成選手。

ハーフマラソンに参加、大会を盛り上げていただいた。

(2) 定例校長会【4月9日(木)】

○ 冒頭、あいさつを申し上げた。「教育は人なり」。校長はじめ教職員のみなさんが、毎日健康で、明るく、機嫌よく、笑顔で、授業に臨み子どもたちに接していただくことが何より大事、そうあってほしいとお願いした。

令和8年度初、校長異動があった学校は、小学校2校、中学校1校で、いずれも市外からの異動である。

(3) 燕・弥彦科学教育センター運営協議会【4月9日(木)】

○ 令和7年度事業報告及び決算報告並びに令和8年度事業計画及び予算について協議を行い、いずれも原案のとおり承認された。

○ センターでの実施研修のみならず、PTA行事などでも依頼が増えている。積極的に学校等へ出向き、伴走型支援にも力を入れていきたいと考えている。

(4) 全県教育長会議【4月13日(月)】

○ 冒頭のあいさつでは、太田勇二新潟県教育長より、①少子化の進行による学校統廃合の尽力への謝意、②予測不可能な社会を生きる子どもたちに多様な力を育成することの必要性等について話があった。

○ その後、義務教育課、高等学校教育課、生徒指導課、保健体育課、生涯学習推進課、総務課、財務課、福利課、県立教育センターの順で、主に新規事業や重点事業について説明があった。

(5) 令和8年「新規学卒就職者歓迎会」【4月15日(水)】

○ 今年度、燕市及び弥彦村の事業所等に就職した新卒者対象の歓迎会(式典及び研修会)に臨席した。37事業所から合計89名の参加があった。

希望と期待、緊張の入り混じった表情に初々しさが感じられ、新入社員代表の力強い挨拶に元気と勇気をいただいた。

4 結びに

○ B&G財団から助成を受け、大関小学校敷地内に建築を進めていた子ども第三の居場所「おおせき友遊くらぶ」を開設。何もかも新しくなった場所で、友だち同士や指導員、支援員たちと笑顔で楽しそうに過ごす姿が見られた。

○ 今年度も、子どもたちが学習や活動している現場を自分の目でしっかり確かめ、よさや課題を明確にし、共有に努めていく。よさは全市に広め、課題には、その解決に向け具体策を講じられるよう取り組んでいく。

4 専決処分の報告について

報告第 4 号 共催・後援の教育長専決報告について

9 件の共催・後援申請について

〈No. 1、2、3 について廣瀬社会教育課長が説明〉

〈No. 4、5、6、7、8、9 について横田学校教育課長が説明〉

5 協議題

協議第 8 号 新規共催・後援申請について

3 件の共催・後援申請について

〈No. 1、3 について横田学校教育課長が説明〉

〈No. 2 について廣瀬社会教育課長が説明〉

○委員（小林 恵子）

令和 8 年度の新潟県春季ミニ・ジュニアラグビー交流大会について、規約には役員のあるが、役員名簿はあるのか伺う。事業内容としては問題ないと思うが念のため確認願いたい。

○社会教育課長（廣瀬 雅則）

役員名簿の提出はなかったため、提出を求め、確認する。

○委員（斎藤 純郎）

萬燈について、郷土の伝統文化を保存し継承する活動を通して青少年の健全育成に取り組んでいるということ、祭りの際の巡行や演舞の披露以外にもボランティアで福祉施設を訪問し踊りの披露や、地域の行事やイベントにも参加するなど、地域の活性化にも取り組んでいる。

また、観光面で市に大いに貢献しており、市もバックアップしている事業とのことである。

後援を依頼されているポスターやチラシに教育委員会の名称を用いることや市内小中学校にチラシを設置することについては承認してもよろしいのではないかとと思われる。ただし、教育委員会としては、学校行事に支障を及ぼさない範囲での後援であることを申請者にお伝えいただきたい。

○学校教育課長（横田 雄司）

後援承認通知書を発出の際に、承認の条件として記載するとともに、留意いただくようお願いする。

審議の結果、全員異議なく協議第 8 号は承認された。

6 議案

議案第23号 燕市社会教育委員の委嘱についてについて
〈廣瀬社会教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第23号は原案どおり議決された。

議案第24号 燕市図書館協議会委員の任命について
〈廣瀬社会教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第24号は原案どおり議決された。

議案第25号 燕市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
〈廣瀬社会教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第25号は原案どおり議決された。

議案第26号 燕市公民館運営審議会委員の委嘱について
〈廣瀬社会教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第26号は原案どおり議決された。

議案第27号 燕市青少年育成センター条例施行規則の廃止について
〈廣瀬社会教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第27号は原案どおり議決された。

7 その他

- (1) 「羽ばたけつばくろ応援事業」審査員の選任について
〈横田学校教育課長が説明〉

審議の結果、小林恵子教育委員に決定した。

8 閉 会 午後2時13分

燕市教育委員会会議規則(平成18年燕市教育委員会規則第2号)第17条第2項の規定により会議録に署名する。

令和8年5月21日

教 育 長 小林靖直

教 育 委 員 中野信男

教 育 委 員 斎藤純郎

教 育 委 員 小林恵子

教 育 委 員 上田佳澄

教 育 委 員 渡邊 愛

会議録作成職員 伊藤 崇人